

地域に飛び出す市民国際プラザ! 市民国際プラザが取材した、各地の先進的な活動をご紹介します。

○北九州市 2019年2月21日 場所：福岡県北九州市



「真の豊かさ」を目指して～公害を乗り越えた市民力・技術力を活かした国際協力とSDGs

1960年代以降、市民・企業・行政一体となって公害を克服した北九州市。その経験を活かした国際協力、OECDの「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」にアジア地域として初めて選ばれたSDGsの取組みについて伺うため、北九州市役所を訪問し、企画調整局・環境局・上下水道局にお話を伺いました。

まず、驚いたのが、市全体の環境への意識の高さです。2004年の時点で既に「北九州市民環境行動10原則」を策定。公害克服の際に培った市民・企業・研究機関・行政の協力体制を活かし、「真の豊かさ」を目指す取組みが行われてきました。脱炭素社会や循環システムの構築に加え、環境に関わるNPOの活発な活動や「環境首都検定」の実施、環境学習が積極的に行われていることから、市民の環境への意識（「市民環境力」）の高さがうかがわれます。また、その経験を活かして、アジア諸国への環境国際協力を行っています。



↑商店街にSDGsのパナーが掲げられる等、街全体での取組みが行われています

そして、注目すべきは、上記の10原則がSDGsの掲げる持続可能性を先取りした内容だということ。1960年代から一丸となって取り組んできた蓄積が、現在の北九州市の先進性の土台になっていると強く感じました。SDGs独自の取組みとしては、2018年11月にSDGsクラブ（北九州SDGsクラブ）を立ち上げ、既に約240の団体・企業・学校などが加盟。地域の市民団体・企業・学校が共にSDGsに取り組むネットワーク作りが始まっています。市内を歩いても、商店街や施設にSDGsのロゴが掲げられているなど、市民の積極的な姿勢も感じられました。

また、北九州市といえば、上下水道分野での国際協力を忘れてはいけません。カンボジアやベトナムにおいて、CLAIRやJICAの助成制度を活用した技術協力を行っているほか、積極的に研修生を受け入れています。また、水ビジネスにも力を入れており、地域産業への波及効果も生まれています。長期的な技術・人的支援、そしてその結果としての信頼関係の構築が、途上国・北九州市のwin-winな関係に繋がっている、理想的な事例です。



○公益財団法人 アジア保健研究所 (AHI) 2018年12月14日 場所：愛知県日進市

アジアの健康のために～人材育成からアジア諸国への理解促進まで

愛知県出身の川原医師が医療協力のために1976年3ヶ月間ネパールに滞在、帰国後の1980年に地域保健に関わるアジアの人材育成を行おうと設立したのが、アジア保健研修所 (AHI) です。これまで国内外において6,000名以上が研修に参加しています。愛知県日進市にあるAHIを訪ね、これまでの歩み、地域との関わり、今後の展望について、事務局長の林かぐみさんにお話を伺いました。

まず、特に印象に残ったことは、39年の間に研修生との関係が変化・発展していることです。アジア各国からNGO職員を主対象に研修生を受け入れる国際研修が主な活動であることは当初から変わりませんが、以前の研修生が母国で活躍するにつれ、現地で彼らと協働することがAHIの重要な活動になってきています。アジア各国にちらばる研修生同士の連携も生まれ、AHIというプラットフォームを介して国をまたいだコミュニティが形成されていること、彼らの自主性を重んじながら、優しく包み込むようにそと支援の手を差し伸べていच्छる姿勢が大変印象的でした。



↑各国から集まった国際研修の参加者と。

また、AHIでは、地元・日進市におけるコミュニティへの参加も積極的に行っています。1985年国際青年年の行事に研修生が参加したことから地元との交流が深まっていきました。十数年前からは同市における行政-住民連携の取組みも参考にしたいと、国際研修に「日進市事例セッション」を設け、市職員や市民活動の関係者に語ってもらうなどしてきました。また2011年に小学6年生の社会科教科書に掲載されるようになったことから、2013年より日進市立の小学校で高学年向けに出前授業を行い、国際協力や異文化への関心や理解を高めるための参加型学習を行っています。また、地域の住民の人たちがボランティアとして活動を支援しています。

一方、他団体とのつながりでは、東海地域のNGOネットワークである名古屋NGOセンターに1995年の発足以来加盟しています。そのほか、2016年の伊勢志摩サミットを前に開催された「市民サミット」が国際協力NGOと国内課題に取り組むNPOが協働する契機となり、その後結成された東海市民社会ネットワークでは、市民団体と行政の協働、特に市民団体によるアドボカシーを課題に掲げているそうです。

設立40年来年に控えるAHI。健康を軸に人と人との絆を大切にしながら続けてきたその姿勢に、学ぶことが多くあると強く感じました。

○北九州ESD協議会

2019年2月22日 場所：北九州ESD協議会（福岡県北九州市）



北九州の「市民力」を活かしたESD教育

北九州市2日目には、北九州ESD協議会を訪問し、ESDコーディネーターの森川さんにお話を伺いました。2006年に設立された市民団体・企業・大学・行政など77団体・46名の個人会員からなるゆるやかなネットワークで、北九州の「市民力」を文字通り支えている団体です。地元の婦人会がけん引役となった公害の克服、その精神を引き継ぎ、自発的・自立的に、持続可能な開発のための教育を行っています。北九州市立大学の学生たちが実習の一環として毎月のイベントの企画・運営を担っており、世代を超えた様々なステークホルダーをまきこんだ活動を目指しているのも特徴です。また、北九州ESD協議会が受託運営する「北九州まなびとESDステーション」は人通りの多い商店街に面した立ち寄りやすい場所に立地。北九州発のESDの取組みに、今後とも注目していきたいと思えます。



↑北九州まなびとESDステーション。北九州の環境マスコット、ていたんが入口で迎えてくれます。

○ひまわり21、ワールド・キッズ・ネットワーク

2019年1月12日 場所：広市民センター（広島県呉市）



日本語教室は、仲間づくり、まちづくり

呉市で日本語や教科学習支援を行う「ひまわり21」と「ワールド・キッズ・ネットワーク」代表の伊藤美智代さんをお訪ねしました。活動のきっかけは1990年初頭から外国人が増える中、地域や学校で問題も起き始め危機感を持ったことです。やがて呉でも国の日本語教室支援事業が立ち上がったのを機にボランティアとして参加しました。呉市役所の手厚いサポートで軌道に乗り3年が過ぎた後、市から打診を受け伊藤さんが教室運営を引き継ぎます。当然、戸惑いや不安もありましたが「活動を継続させる必要がある」と考えて今日に至ります。市とは引き続き連携し、教室は市内の公共施設を無償で利用、運営謝金を受ける他、連絡窓口としての事務局が文化振興課にあります。地元企業とも良好な関係で、市役所、企業との三者で率直に意見交換できる環境が、外国人住民支援のためのゆるやかな連携としても機能している様子が伺えます。

教室は、地域日本語教室、放課後クラブ、こども日本語教室。心がけているのは、学習者も自主的主体的に参加できること。参加するグループも学習者の希望を聞きつつ柔軟に対応し、自由に意見を言える風通しのよい教室になっています。地域には日本語指導の有資格者はほとんどいないため、協力し合いながら指導にあたります。そのため支援者側もできるだけ複数体制のグループ学習です。顔の見える関係ができることで学習者の個別の相談にも乗ります。小中高校生にはアイデンティティ形成支援や、高等教育を受け安定した仕事を持つ重要性も伝え、励ましながら個々の進路のサポートも行っています。教室では連絡手段や課題の提出のためSNSも有効活用しています。

伊藤さんは、日本語教室は「仲間づくり、まちづくり」でもあると仰います。外国人だけでなく、ボランティアが生き生きと活動できる居場所でもあります。外国人と地域の人の繋がりを生む場でもあります。教室や外国人への理解者や支援者を増やすため、積極的に活動をSNSで発信し、公共の展示スペースを活用し学習者の作文など生の声を紹介します。手間はかかるもののニュースレターも頑張って発行しています。開かれた教室運営を行いながら、色々な団体や人々とつながることも意識しています。そのような取り組みから発展した行事の一つが「浴衣会」です。当初は普段活動している仲間のボランティアで浴衣の調達から着付けまで行い大変な思いをしていたそうですが、地域の方々の舞踊教室と繋がることで、浴衣の提供、着付けもお手伝いしてもらえるようになり、当日のイベントにも一緒に参加し共に楽しむ場となっています。

西日本豪雨では呉も甚大な被害を受けましたが、SNS等を活用しいち早く学習者の安否確認、ニーズ把握ができたそうです。また、学習者たちは被災した地域の瓦礫撤去など復興にも貢献してきました。呉に住み、日本語教室を通じて地域と繋がり、地域に暮らす一市民として、お世話になっている自分たちも貢献したいと思い、それを伝える行動できるのも、日ごろの教室での双方向の取り組みや、地域との繋がりを深める工夫が生きていてと感じます。今後、各地で更に外国人が増えことが予想されます。「日本語教室」を軸に外国人住民の学習の場であると共に、地域づくりをすすめる呉の取り組みから学ぶことがたくさんあるのではないのでしょうか。



浴衣会 全員で笑顔いっぱい記念撮影↑



～ 市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために～

市民国際プラザのFacebookに「いいね！」をお願いします！

